

- ✓ **BAUHAUS** 手すりシリーズ
- ✓ 作業療法士からみた住宅改修
- ✓ 動物証明写真
- ✓ ○○な時に観たい映画
- ✓ ゆる〜くおぼえる住まいの漢字

BAUHAUS 手すりシリーズは、 安心・安全な暮らしのために

バウハウスは、ドイツ語で「家をつくる」という意味があります。

その目的は、製品が誰にとっても丈夫で美しく
機能的であるようにすることでした。

私たちは、その理念をもとに伝統的な美を追究し、
未来のデザインを築き、

次世代の建築文化にふさわしい商品の提供を

「BAUHAUS」ブランドに託してお客様にお届けします。



強度

BAUHAUS 手すりシリーズは、
全て厳しい試験(社内基準強度)を
クリアしています。

安全荷重:動作補助60kgf、歩行補助120kgf
を基準としています

また、一部商品は
優良住宅部品(BL部品)の認定を
受けておりますので、公共施設にも
安心してご使用いただけます。

- *支柱式手すりを除く。
- *墜落防止手すりとしてはお使いいただけません。



強度試験の様子

材質

強靱で、硬さに優れ、
衝撃に強い天然木



三層の集成材にすることで
反りやねじれが少ない
手すり棒にしました。
(強化コート手すり棒を除く)

アッシュ丸棒には、
野球のバットや車のハンドル、
家具などにも使用されている
アッシュ材を使用。
また、その他の製品にも強度に優れた
天然木材を使用しています。
(強化コート手すり棒を除く)

環境 配慮

BAUHAUS
アッシュ丸棒は、
計画植林された原材料を
使用しています。



カタログでこのマークの付いた手すり棒は、
American Tree Farm System に加盟
する材料メーカーから、計画植林された原
材料を購入し、使用しています。

■集成材の仕上げについて

BAUHAUS 室内手すりシリーズに使用する木材は、
天然の材料を使用しているため、木目・色調など木材特有の表情が
ひとつひとつ異なります。予めご了承ください。

集成材表面に
あらわれる表情の一例



接合部(フィンガージョイント)



入皮



節



スジ



虎斑

「シルバーハウジング」は、「シルバーハウジング・プロジェクト」によって
供給される高齢者向けの公的賃貸住宅である。入居対象者は、高齢者単身世帯、
高齢者夫婦世帯、高齢者のみから成る世帯であるが、事業主体の長が必要と
認められた場合は、【A】単身世帯か【A】とその配偶者から成る世帯なども含まれる。

- ①若年者(20歳未満)
- ②生活保護受給者
- ③障害者
- ④外国人

住宅改修

「理学療法士からみた健康寿命」、「作業療法士からみた住宅改修」を交代でそれぞれの視点から、専門的な知見を踏まえお伝えするコラムです。



大阪保健医療大学 作業療法学専攻
作業療法士・二級建築士

山田 隆人

転倒しやすい条件と作業

加齢するにつれ転倒することが多くなり、後期高齢者になると転倒による怪我が重篤化し、死亡する確率が高くなることが示されています。

転倒のリスク要因の一つとして、眼疾患が挙げられています。後囊下白内障を有する患者はない患者と比べ大腿骨骨折のリスクが5倍、緑内障患者の転倒リスクは非緑内障患者の4倍、浸出型加齢横斑変性患者の転倒リスクは対象群の約1.7倍で、女性の場合は3倍になることが報告されています¹⁾。このことから、眼疾患が転倒のリスク要因であることがわかります。

視機能と転倒の関連性において、視力だけでなく「足下視力」の概念で転倒リスクが説明されています²⁾。つま先よりも75cm先の距離の視力である「足下視力」の低下により転倒の頻度が多くなるとしています。高齢期に多い老眼は近い距離に焦点が合わず、遠くが良く見える状況で、足下が見えにくい状態となり、転倒のリスクが高くなります。

視野の下方に障害があると転倒のリスクが高くなります。先に挙げた疾患を有している場合で視野の下方に障害がある場合、転倒のリスクが高くなります。

視野の障害や疾患を有してなくても、足下の視野が制限される場合があります。

その一つは、肥満です(図1)。腹囲が大きく足下が見にくい場合、居室のカーペットなどの段差や家電製



図1) 肥満の場合、足下が見にくい

品のコードなどでつまずいたり、転倒したりしやすくなります。

肥満でない場合でも足下が見にくくなる場合があります。それは、身体の前で荷物を持ち運搬している作業です。家事では、洗濯物を運ぶ際、食事を運ぶ際に、足下が見にくい状況になります(図2)。これらの作業を行っている場合も転倒リスクは高まります。



図2) 身体の前で荷物を運ぶ際も、足下が見にくい

これらの状況に加えて、考え事をしている場合、急な来客や配送等で急いで対応しないといけない状況になると、更に転倒のリスクは高まります。

転倒のリスクを軽減するためには、安全に移動する方略をとることが重要になります。生活の中で移動する場所に、手すり等を使用して安全に移動できるようにする方法、物を運ぶ動線を短くする・運ぶものを少なくして移動するなど移動時の工夫をする方法が挙げられます。肥満の場合には、腹囲を小さくするための栄養摂取や運動の処方も必要になると思います。

皆さんも生活を振り返り、転倒しやすい条件や作業を探してみてください。意外と見つかるかも知れません。

引用文献
1. 結城賢弥、浅岡亮：高齢者眼疾患と転倒、The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, Vol.55, No. 11, pp.921-926, 2018
2. 鈴木武敏：転倒予防のための足下視力重視の屈折矯正、日本転倒予防学会誌、Vol.5, No. 1, pp.7-11, 2018

動物証明写真

File No. 24

なまえ ブラン
ところ 姫路セントラルパーク
しゅるい ホワイトライオン
せいべつ オス



神の使いとして崇められる
ホワイトライオン

ホワイトライオンのトリビア

白変種であるホワイトライオンは、世界で約300頭しか生息しておらず大変希少な存在です。希少になってしまった理由は諸説ありますが、かつて雪や氷に覆われ真っ白な世界だった氷河期には、白い体毛が保護色となり獲物に忍び寄りやすく、また外敵から身を隠すことができたために繁栄したものの、氷河期が終わり白い体毛が目立つようになった事で、外敵に見つかりやすくなり生息数が減っていったという説が有力です。現在、日本では約30頭が飼育されています。神秘的な佇まいは必見です！

ゆる〜くおぼえる 住まいの漢字¹³

ふすま 襖

皆さんご存知、和室の間仕切り建具。でも住まいに関する漢字なのに、なぜ衣服を表わす「ころもへん」が使われているのでしょうか？

襖の起こりは平安時代と言われています。今でいう掛け布団にあたる寝具を『寝ときの着物=臥(ふ)す裳(も)』と呼び、それが「ふすま」に変化。そこから寝所を「ふすまどころ」と呼び、寝所の間仕切りも「ふすま」と呼ぶようになったとか。素材や構造などの変遷は長くなるので割愛しますが…「襖」の漢字には衣服のあわせや綿いれの意味があり、当初の襖は両面が絹裂地張りであったことから「ふすま」の表記に使用されたと言われています。



※漢字のつくり部分は「奥」ではなく、旧字体の「𨮑」が正しい形です。ただし「𨮑」を使っても直ちに間違いとするものではないようで、フォントによっては「𨮑」で表示されているものもあります。

Information この場をお借りして **マツ六からのお知らせです。**

●皆様からのご意見を募集しております。

✉ planning@mazroc.co.jp



最近、遠出してないな…

って時に観たい映画

ウォルターは長い歴史を持つLIFE誌の写真管理部門で働いていましたが、廃刊が決まり、最終号の準備をする日々。最終号の表紙を飾るにふさわしい写真を探しに、世界各地を旅をする中で、様々な体験をすること…。普段とは違う場所に行く事で、新たな発見があるかもしれません。この映画をきっかけに、ぜひ遠出してみたいはいかがでしょうか。

福祉住環境コーディネーター **道** の答え：③障害者

発行元： **マツ六株式会社**

〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号
TEL 06-6774-2255 (代表) FAX 06-6774-2248

<https://www.mazroc.co.jp/>

MAZROC 2003-1

